

設立30周年記念上映会& ラジオ関西「谷五郎の笑って暮らそう10周年」GOROショー

オレンジ・ランプ

貫地谷しほり 和田正人
伊崎充則 山田雅人 赤間麻里子 赤井英和 中尾ミエ
監督：三原光寿 企画・脚本・プロデュース：山田秀幸 脚本：金杉弘子 音楽：宮崎進
主題歌：THE CHARM PARK「ケルファノート」 原作：山田秀幸「オレンジ・ランプ」(©冬舎文庫)

本編前に主人公の
モデル丹野さんの
メッセージ動画を
上映します。

39歳、パパが認知症!?

どうする、私!!

それは、温かな灯りが紡いだ感動の実話

若年性認知症と診断された丹野智文さんの実話をもとに描く、夫婦の希望と再生の物語。
年齢を重ねていく全ての人へ、より良く生きるヒントがここにある。

製作：野中雅志 野村弘幸 依田英 今村繁明 五花川 プロデューサー：原悠麻生 高瀬博行 アソシエイトプロデューサー：小川明日香 藤本悠人 企画協力：丹野智文 撮影：鈴木周一 照明：齊藤誠
録音：西岡正巳 編集：宮島竜彦 美術：津留啓亮 装飾：森浦彩實 衣裳：岩田友希 ケイビシムロ メイク：伊藤里香 キャスティング：田山天祐 助監督：金子功 制作担当：遠藤祐輝
Official Partner：太陽生命保険 特別協賛：読売エアー（アソシエイトプロデューサー）/ジャパンコネクション（アシスタントプロデューサー）/朝日放送テレビ（朝日放送） 制作協力：TKSplus AFF2 配給：GAGA★

推薦：厚生労働省
文部科学省選定作品
GAGA★

定員
400名様
入場無料
事前登録不要



2025年 2月26日(水)

**神戸市立東灘区文化センター5階
うはらホール**

神戸市東灘区住吉東町5-1-16

12時開演 (11時30分開場)

・バリアフリー日本語字幕あり ・母子室あり



1部 (12時20分～)
映画「オレンジ・ランプ」100分
2部 (14時20分～)
GOROショー 40分



実話をもとに描く、 やさしさに満ちた 希望と再生の物語

あなたの大切な人が認知症になったら？

Story

妻・真央や二人の娘と暮らす39歳の只野晃一は、充実した日々を送るカーディーラーのトップ営業マン。そんな彼に、顧客の名前を忘れるなどの異変が訪れる。下された診断は、「若年性アルツハイマー型認知症」。驚き、戸惑い、不安に押しつぶされていく晃一は、とうとう退社も決意する。心配のあまり何でもしてあげようとする真央。しかし、ある出会いがきっかけで二人の意識が変わる。「人生を諦めなくていい」と気づいた彼ら夫婦を取り巻く世界が変わっていく…。

“貫地谷しほり×和田正人”で描く、 笑い涙の夫婦の9年間の軌跡

本作は、39歳で認知症と診断されながらも、働きながら講演活動が続けている丹野智文さんの実話に基づく物語。夫と共に前を向く真央役に、連続テレビ小説「ちりとてちん」のヒロイン役で知られ、ドラマ「大奥」ほか映画・ドラマ・舞台で活躍する貫地谷しほり。夫・晃一役に、映画「THE LEGEND & BUTTERFLY」、「Winny」など話題作への出演が続く和田正人。実力俳優の二人が、晴れやかな感動を生み出す。

「認知症になったら人生終わり」なんかじゃない

介護の世界を描いて13万人以上の人々に感動を伝え続ける映画「ケアニン」シリーズ制作スタッフによる本作。タイトルには、“小さな灯でも、みんなで灯せば世界はこんなにも明るくなる”という願いが込められた。本人や家族が、認知症とどのように向き合えば笑顔で生きられるのか。認知症になっても安心して暮らせる社会とは？その一つの指標となり得る作品が誕生した。

企画協力:丹野智文さん

1974年、宮城県生まれ。ネットコタ山台に勤務。39歳のときに若年性アルツハイマー型認知症と診断される。診断後は営業職から事務職に異動し、勤務を続けながら、不安を持っているご本人のためのもの忘れ総合相談窓口「おれんじドア」実行委員会代表を務める。自らの経験を語る講演活動にも力を入れている。



「オレンジ・ランプ」とは

認知症のシンボルカラーのオレンジと、みんなで灯せば世界を明るく照らすことのできるランプ。この二つを組み合わせ、認知症になっても暮らしやすい社会づくりの象徴となる願いを込めたタイトルです。

貫地谷しほり 和田正人

伊崎充則 新井康弘 水木薫 平尾菜々花 安山夢子 井上拓哉 池田朱那 金子さやか 谷田部俊 日向丈 田口智也 鈴木武 金澤美穂 山田雅人 堀田真三 赤岡麻里子 赤井英和 / 中尾ミエ

谷五郎のプロフィール

大学入学後、ブルーグラス・ミュージックと出会い、在学時からバンド活動を開始。神戸大学農学部卒業後、高砂市農協（現JA兵庫南）を経て、1991年パーソナリティに転職。ラジオ関西、山陽放送、ABC TV、サンTVなどで、番組担当、レギュラー出演し、阪神・淡路大震災時には地震発生直後からラジオでしゃべり続ける。現在、ラジオを中心に様々な活動を行なっている。また、自らの実体験に基づいた子育てや家族、人生、夢の実現など現代社会の問題をテーマにした講演やフォーラムでも活躍中。著書にエッセイ「谷五郎の笑（Show）タイム」がある。1993年にはCDシングル「野菜ルンバ」発売、98年初のCDアルバム「ひ。み。つ」をリリース。2002年ゴローショー25周年記念CDアルバム発売。現在、ラジオ関西で、毎週日曜日（午前10時～）「谷五郎の笑って暮らそう」のパーソナリティとして10年目。

